



平成 17 年 2 月 3 日

各 位

会 社 名 株式会社アオキインターナショナル
代表者名 代表取締役社長 青 木 拓 憲
(コード番号 8214 東証・大証第一部)
問合せ先 専務取締役 中 村 憲 侍
(TEL . 045 - 941 - 4888)

当社子会社（株式会社ヴァリック）の通期業績予想の修正に 関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、当社子会社である株式会社ヴァリックの平成 16 年 11 月 11 日に公表した平成 17 年 3 月期（平成 16 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 3 月 31 日）の業績予想を別添資料のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

以 上

平成 17 年 3 月期 第 3 四半期業績の概況（非連結）
及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 17 年 2 月 3 日

会 社 名 株式会社ヴァリック

（コード番号：2387）

（URL <http://www.valic.co.jp>）

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

氏 名 牧 倫匡

問い合わせ先 責任者役職名 常務取締役経理部長

氏 名 菅谷信一

（Tel : (045) 988 - 0888（代表））

1．四半期業績の概況の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における： 無
認識の方法との相違の有無

2．平成 17 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績の進捗状況

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | |
|------------------|-------|----------|------|----------|------|----------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 17 年 3 月期第 3 四半期 | 6,260 | (28.0) | 426 | (21.9) | 401 | (19.4) |
| 16 年 3 月期第 3 四半期 | 4,891 | () | 546 | () | 498 | () |
| (参考) 16 年 3 月期 | 6,746 | | 747 | | 684 | |

(注) パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第 3 四半期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 12 月 31 日）におけるわが国経済は、企業収益の改善傾向が続くもとで設備投資も引き続き増加傾向にあり、雇用情勢も厳しい中にも改善傾向が見られ、個人消費も底堅く推移するなど緩やかな景気回復基調にあると言われておりますが、一部経済指標には景気の調整局面も見られ先行き不透明感が増してきております。当社の属するカラオケルーム運営事業を取り巻く環境は、8月のオリンピック開催による深夜利用客の減少や大型台風の上陸、新潟中越地震発生など、天候及び天変地異等の特殊与件が例年に比べて多く厳しい商環境でありました。

こうした環境のもと、当社は11月のグランドメニュー改廃やホームページの刷新を通して顧客ニーズへの対応に努めてまいりました。

店舗展開については、東北地域 3 店舗、関東地域 10 店舗、北陸地域 1 店舗、中京地域 2 店舗、関西地域 4 店舗の計 20 店舗を新規出店し、各地域のドミナント化を一層強化いたしました。その結果、総店舗数は前年同四半期末に比べ 22 店舗増の 83 店舗となりました。また、新規出店のうち 12 月に開店した「コート・ダジュールいわき鹿島店」と「コート・ダジュール ダイニング（新横浜）」の 2 店舗は、今後の業容拡大に向けたトライアル店舗

としてオープンいたしました。

「コート・ダジュールいわき鹿島店」は、従来のカラオケスペースだけでなく、1階部分に本格的なコミック&ネットカフェ（平成18年3月期上半期オープン予定）を併設した当社初の複合店舗であります。この店舗で「時間消費型ビジネス」についての様々なチャレンジと検証を実施し、今後の業態進化に活かしていきたいと考えております。

「コート・ダジュール ダイニング」は、4フロア構成（1階はカフェ&ダイニング、2～4階はカラオケ付き個室ダイニング）となっており、この店舗において「食」の追求とカラオケ特有の個室空間を活かした、カラオケルーム運営事業における「質」の向上を図っていききたいと考えております。

このような新たなトライアルを含め、前年同期に比べ4店舗多く出店した結果、新規出店に係る費用が前年に比べ増加いたしました。また、既存店においては12月の年末商戦において予想を上回る推移となったものの、上半期に引き続き10月の大型台風上陸や新潟中越地震等のマイナス要因が影響し、第3四半期の既存店売上高前期比は3.9%減（計画対比2.0ポイント減）となりました。

以上の結果、当第3四半期の業績は、売上高6,260百万円（前年同期比28.0%増）、営業利益426百万円（前年同期比21.9%減）、経常利益401百万円（前年同期比19.4%減）となりました。

(2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象
該当事項はありません。

3. 平成17年3月期通期（平成16年4月1日～平成17年3月31日）業績予想の修正

（単位：百万円）

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|------------------------|-------|------|-------|
| 今回発表予想(A) | 8,650 | 630 | 310 |
| 前回発表予想(B) | 8,848 | 868 | 438 |
| 増減額(A-B) | 198 | 238 | 128 |
| 増減率(%) | 2.2 | 27.4 | 29.2 |
| (参考) 前期実績(平成16年3月期) | 6,746 | 684 | 285 |

[業績予想に関する定性的情報等]

当第3四半期（平成16年4月1日～平成16年12月31日）の業績経過については、上記「経営成績の進捗状況に関する定性的情報等」に記載のとおりであり、第3四半期での計画未達成が影響し、通期の業績予想を減額修正するものであります。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以上